

21 世紀の森と広場の魅力向上に向けた
マーケットサウンディング調査

21 世紀の森と広場基本情報



松戸市役所 街づくり部
公園緑地課 21 世紀の森と広場管理事務所



目次

1 公園の諸元	
(1) 立地・面積等	3
(2) 交通アクセス	5
(3) 事業経過	7
(4) 基本理念	8
(5) 名称	8
(6) 目的	8
(7) 設計	8
(8) 管理運営体制	9
(9) 自然特性	10
2 公園周辺の状況	
(1) 公共施設	14
(2) 商業施設	16
3 各施設の概要	
(1) ゾーン特性	17
(2) 各施設概要	21
(3) 樹林地面積等	32
4 駐車場の状況	
(1) 駐車場設置場所	33
(2) 各駐車場概要	34
5 公園の利用者数	
(1) 入園者数の推移と年当り平均入園者数	35
(2) 夏季の入園者数と閉園時間延長時の入園者数	36
(3) 平日と土日祝日の入園者数	36
6 公園のルール	
(1) 運営管理の考え方	37
(2) 運営に関する禁止事項	37

7 イベントの実施状況

- (1) 大型イベント 39
- (2) 21世紀の森と広場管理事務所が主催又は共催のイベント 41
- (3) その他のイベントの実績 44

8 団体利用の状況 45

参考情報

- ・「21世紀の森と広場魅力アップに係る運営計画等検討業務委託報告書（平成31年3月）」
- ・「21世紀の森と広場魅力アップ基本計画（案）（平成30年3月）」
- ・「21世紀の森と広場自然環境保全モニタリング調査（平成29年3月）」
- ・「（21世紀の森と広場パークマネジメントプラン検討業務委託成果品令和2年3月）」
- ・「パークマネジメントプランの基本的方向性（令和2年11月策定）」及びアンケート調査結果
- ・21世紀の森と広場魅力向上アンケート調査結果（令和3年2月）
- ・21世紀の森と広場 総合公園の整備・管理業務関係資料

1 公園の諸元

(1) 立地・面積等

21世紀の森と広場は、松戸市のほぼ中央に位置し、昭和40年代の急激な人口増加に伴う都市化の波により、周辺が開発されていくなかで貴重な緑を残した区域である。昭和56年1月、総合公園として50.5haを都市計画決定し、6月に事業認可を受け、都市公園事業がスタートした。平成5年4月29日に40.14ha、約80%がオープンした。令和3年4月現在、50.06ha、約99.1%がオープンしている。

【総合公園とは】

都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所あたり面積10haから50haを標準として配置するものだが、「21世紀の森と広場は自然尊重型都市公園」として位置づけられ、運動利用の公園の想定はされていない。



公園種別	総合公園
所在地	松戸市千駄堀269番地
供用開始年	1993（平成5）年4月29日
開設面積	50.06ha （※全体面積50.5ha）
入園料	無料
開園時間	9時～17時 （※時期により変動あり）

〈参考：21世紀の森と広場ガイドマップ〉

21世紀の森と広場 ガイドマップ

令和3年7月15日作成

ご利用案内

●開園時間
午前9時～午後5時
*7月21日～8月20日
午前7時～午後6時30分
*8月21日～8月31日
午前7時～午後5時
*11月1日～2月末日
午前9時～午後4時30分
●休園日
12月30日・31日・1月1日

公園での 禁止事項

【園内禁煙】

- 自転車の乗り入れ
- ペットの持ち込み
- 動植物の採集
- 金針菌などの生き物の採集
- 魚つり
- 人に迷惑を与えるボール遊び
- ゴルフクラブの持ち込み
- フォトの撮影(園内カメラ)
- 人の迷惑になる場外へ出すこと
- ハンモックの設置 (※自立型ハンモックを除く)
- 池(小川)への石投げ
- コロコロ水筒の持ち込み
- ゴミ捨て

- 新成電鉄……八柱駅南口下車
- JR武蔵野線……新八柱駅下車 徒歩15分
さくら通り→さくら橋アンダー
- 松戸新京成バス
・八柱駅南口3番のりばより
小倉原団地循環または新松戸駅行き 森のホール21・公園中央口下車
・馬橋駅より
常盤平駅北口行き 東下車(西口)または八原台下車(北口)
・新松戸駅3番のりばより
八柱駅行き 八原台下車(北口)または森のホール21・公園中央口下車

※近隣住居に迷惑となる駐車はやめてください。
※なるべく電車・バスを利用して来園ください。
※大型バスのご来園については、事前にご連絡ください。(裏面参照)

(2) 交通アクセス



●電車

新京成電鉄：八柱駅南口下車

JR 武蔵野線：新八柱駅下車

⇒徒歩 15 分

●松戸新京成バス

・八柱駅南口 3 番乗り場より：小金原団地循環または新松戸駅行き

⇒森のホール 21・公園中央口下車

・馬橋駅より：常盤平駅北口行き

⇒東下車（西口）または八原台下車（北口）

・新松戸駅 3 番乗り場より：八柱駅行き

⇒八原台下車（北口）または森のホール 21・公園中央口下車

●車

東京外環自動車道 松戸 IC より

⇒国道 6 号経由 8 km 約 20 分

(3) 事業経過

昭和52年 3月	松戸市長期構想（公園構想位置付け）
54年 1月 8日	21世紀の森と広場計画推進委員会の設置
12月	21世紀の森と広場造園調査・基本構想の策定
55年 3月 4日	21世紀の森と広場対策協議会の発足
56年 1月20日	都市計画決定（当初：千葉県告示知事決定・総合公園）
3月	21世紀の森と広場基本設計
6月 5日	公園事業認可（千葉県告示）
57年10月29日	都市計画決定の変更
58年 2月 1日	公園事業認可の変更
61年10月	工事着手
62年10月15日	21世紀の森と広場懇談会の発足
63年 2月26日	公園事業認可の変更
12月	21世紀の森と広場自然環境保全計画の策定
平成 元年 3月30日	21世紀の森と広場懇談会最終提言
2年 3月	21世紀の森と広場実施設計
10月	21世紀の森と広場アドバイザー制度の設置
2年 9月	松戸市立博物館着工：平成4年6月25日竣工
2年10月23日	都市計画道路3・3・7号線開通
3年 3月	森のホール21着工：平成5年9月26日竣工
5年 4月29日	21世紀の森と広場オープン（一部：40.14ha） 松戸市立博物館オープン
11月 3日	森のホール21オープン
6年10月 9日	自然観察舎オープン
10年12月10日	水とこかげの広場 みどりの里一部オープン（供用面積：45.11ha）
11年 6月 2日	中央口周辺一部オープン（供用面積：45.19ha）
13年 3月30日	野外活動ゾーンオープン（供用面積：49.96ha）
17年 4月 1日	光と風の広場一部オープン（供用面積：50.06ha）
令和 2年10月29日	遊具等整備事業着工（第一期）
令和 3年 3月末現在	供用面積 50.06ha（99.13%）
令和 3年 7月 3日	光と風の広場に遊具施設「あそびのすみか」オープン

(4) 基本理念

市のほぼ中央に位置する「千駄堀地区」は、樹林地に囲まれ、独自の景観が形成されており、植物や小動物も数多く生息し変化に富んだ自然環境豊かな地域であった。

「この地域の持つ固有の自然環境を守り育てていく」こと自体が市民生活を豊かにし、

ここを市の核的空間として次代に継承していく責務があるという判断から、昭和52年に策定された「松戸市長期構想」で大規模公園の建設構想が位置付けられた。

(5) 名称

21世紀最大の事業として、どんな困難があっても成し遂げる覚悟で、輝ける未来に希望を抱き「21世紀の森と広場」と命名された。

(6) 目的

「千駄堀の自然を市民の財産として後世に引き継いでいく」ことを目的に公園化されており、公園の計画にあたっては「千駄堀の自然をできる限り守り育てる」ことをコンセプトとして掲げ、そのために公園内を3つのエリアに区分し、公園の整備及び保全が行われている。

- 千駄堀の人と自然の営みを再現する区域 (文化施設、催物、里)
- レクリエーション利用される人間主体の区域 (広場、水辺、野外活動)
- 生物相を保全する、生きもの主体の区域 (水、自然生態、自然観察)

(7) 設計

千駄堀の風土を大切にし、その場らしさを最大限活かすことで「主役は自然である」ことを認識し、自然環境に公園施設を馴染ませる設計手法や環境に配慮した工法を用いて、質の高い公園づくりを目指しており、この意識を環境管理方法にも引き継いでいる。

<環境管理の特徴>

- ① ごみの持ち帰り運動 (環境を大切にする心を育てる)
- ② 間伐材を施設補修等に活用 (自然資源のリサイクル)
- ③ 落ち葉、草の堆肥化 (自然資源のリサイクル)
- ④ ペットの入園禁止 (生きものの生態系、衛生的な公園環境の管理)
- ⑤ 自転車の乗り入れ禁止 (幼児から御年寄りまでが安心して歩ける環境)

(8) 管理運営体制

松戸市街づくり部公園緑地課 21世紀の森と広場管理事務所が直営している。

なお園内管理は光と風の広場、水とこかげの広場、みどりの里、つどいの広場、既存樹林、野草園の6エリアに分割し実施しており、それぞれ業務委託した業者が管理を行っている。

その他エレベーターの保守点検、パークセンター清掃等においても委託業者により業務が実施されている。

(9) 自然特性

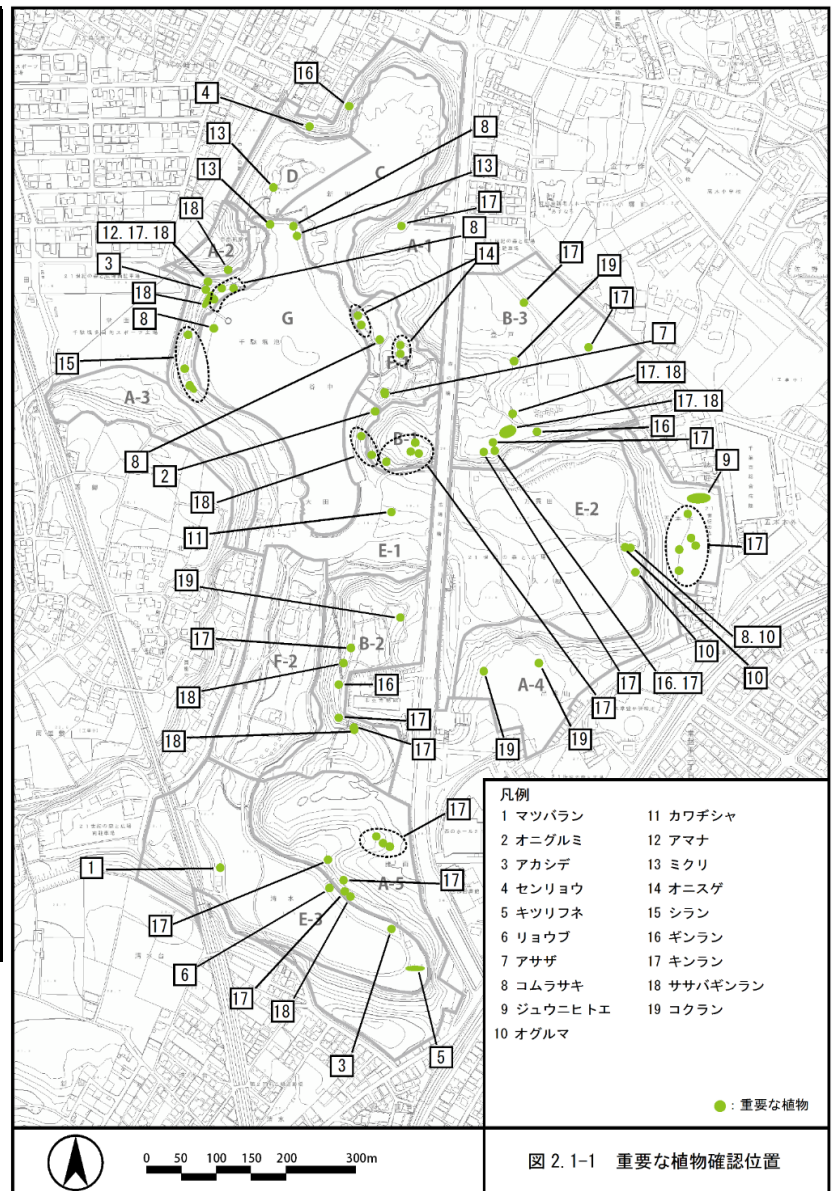
地 質：関東ローム層由来の下総台地、江戸川の三角州性低地のうち沖積低地に位置。

植 生：台地にはシラカシ林、低地や斜面地にはケヤキ、エノキ、ムクノキ、ミズキ等が優先する落葉広葉樹林やスギ植林地が市域に見られていたが市街化が進む中著しく減少している。本公園には自然樹林は約 16ha 残されており、市域最大級の貴重な樹林となっている。

全 552 種（野草園とつどいの広場が各 200 種と多い）

重要種は 19 種、園内全域の斜面林を中心に分布している。

群 号	科名	種名	重要種の選定根拠 ^(注1)			
			1	2	3	4
1	マツバラ	マツバラ			NT	A
2	クルミ	オニグルミ				D
3	カバノキ	アカシデ				D
4	センリョウ	センリョウ				C
5	ツリフネソウ	キツリフネ				C
6	リョウブ	リョウブ				D
7	ミツガシワ	アサザ			NT	B
8	クマツヅラ	コムラサキ				B
9	シソ	ジュウニヒトエ				D
10	キク	オグルマ				C
11	ゴマノハグサ	カワヂシャ			NT	
12	ユリ	アマナ				C
13	ミクリ	ミクリ			NT	C
14	カヤツリグサ	オニスゲ				D
15	ラン	シラン			NT	C
16		ギンラン				C
17		キンラン			VU	D
18		ササバギンラン				C
19		コ克蘭				D
15科		19種				



<自然生態園>

- ・セイタカアワダチソウ草地の多くがヨシ草地やクズ草地、カナムグラ草地などに置き換わった。
- ・コウガイゼキショウ草地がハンノキ林に置き換わった。
- ・平成5年度調査においても示唆されているが、自然生態園の一部には乾燥化に伴う植生遷移（ヤナギ林、ハンノキ林、クズ草地、カナムグラ草地）がみられた。

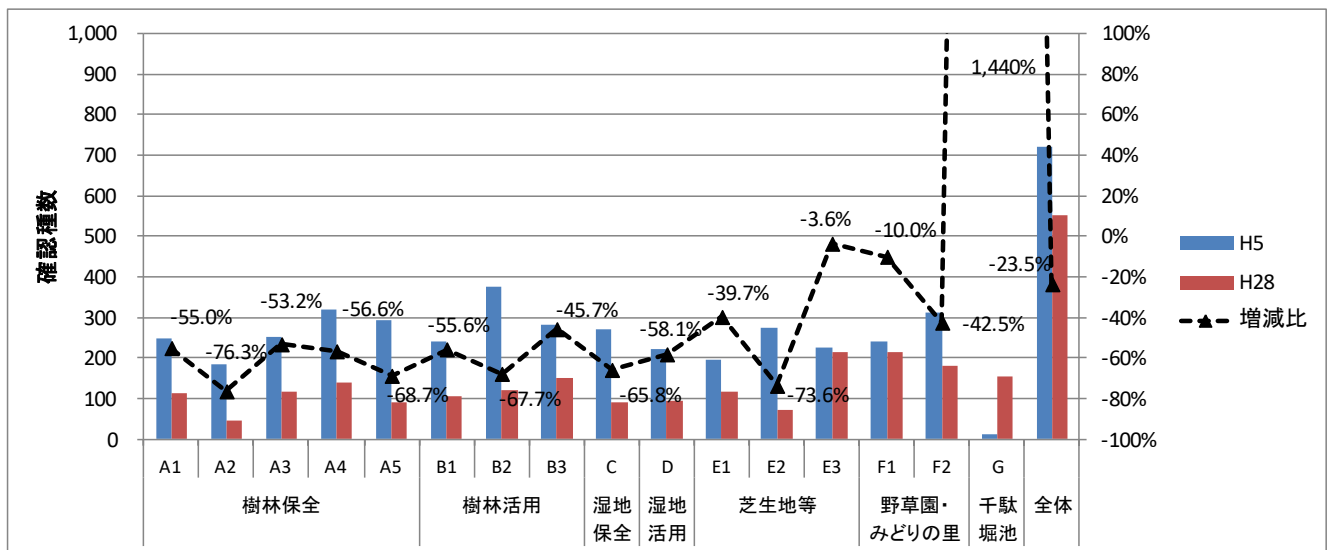
<千駄堀池>

- ・千駄堀池北東岸では、ヨシ草地が発達した。

<生命の森>

- ・アカマツ林がコナラ林やスギ・ヒノキ植林に置き換わった。

平成5年の調査と比較すると千駄堀池エリアを除きどのエリアでも種数は減少している。



- 哺乳類 : 7種の生息が確認されている。重要種はいない。アズマモグラ、ノウサギ、タヌキ、アカネズミ、アライグマ（特定外来種）、ハクビシン（外来種）
- 鳥類 : 69種、既存樹林、湿地、人工池など多様な環境を反映し種数は多い。里山の生態系を代表するオオタカ、サシバも確認された。重要種は32種であり千駄堀池の周辺に集中している。
- 両生類 : 3種、アズマヒキガエル（飼育、千葉県要保護生物）、ニホンアカガエル（千葉県最重要保護生物）、ウシガエル（外来種）
- 爬虫類 : 10種、ニホンイシガメ（千葉県最重要保護生物）、クサガメ、ニホンストップン、ニホンヤモリ、ニホンカナヘビ、ニホントカゲ、アオダイショウ、ジムグリ、ニホンマムシ、ミシシippアカミミガメ（外来種）
- 昆虫 : 723種、重要種19種ウチワヤンマ、アオヤンマ、クロスジギンヤンマ等農業害虫のメイガ類、アカボシゴマダラ（外来種）

番号	目名	科名	種名	重要種の選定根拠 ^{注1)}				
				1	2	3	4	
1	トンボ	サナエトンボ	ウチワヤンマ				D	
2		ヤンマ	アオヤンマ			NT	B	
3			クロスジギンヤンマ				D	
4		トンボ	チョウトンボ				D	
5	カメムシ	ナガカメムシ	ヒメジュウジナガカメムシ				D	
6	コウチュウ	ハンミョウ	コハンミョウ				C	
7		コガネムシ	コカブトムシ				D	
8		ナガハナノミ	ヒゲナガハナノミ				D	
9		ホタル	ゲンジボタル				B	
10			ヘイケボタル				C	
11		ハムシ	キアシネクイハムシ				C	
12			フトネクイハムシ				C	
13			ジュンサイハムシ				C	
14		ハチ	スズメバチ	モンズズメバチ			DD	
15		シリアゲムシ	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ				D
16	チョウ	シジミチョウ	ミズイロオナガシジミ				C	
17			ウラナミアカシジミ				C	
18			ミドリシジミ				C	
19		タテハチョウ	コムラサキ				C	
	6目	13科	19種					

ホタル : 開園当初からヘイケボタルが自生している。

	合計	平均値	野草園		光と風の広場		みどりの里		調査回数	調査期間
			ゲンジ	ヘイケ	ゲンジ	ヘイケ	ゲンジ	ヘイケ		
H24度	457	91	33	120	107	38	12	147	5	6/6~8/2
H25度	473	95	97	155	60	54	12	95	5	6/5~7/30
H26度	665	111	75	322	79	24	24	141	6	6/3~7/31
H27度	352	59	63	164	91	1	16	17	6	6/2~7/22
H28度	401	67	67	201	82	7	23	21	6	5/19~7/20

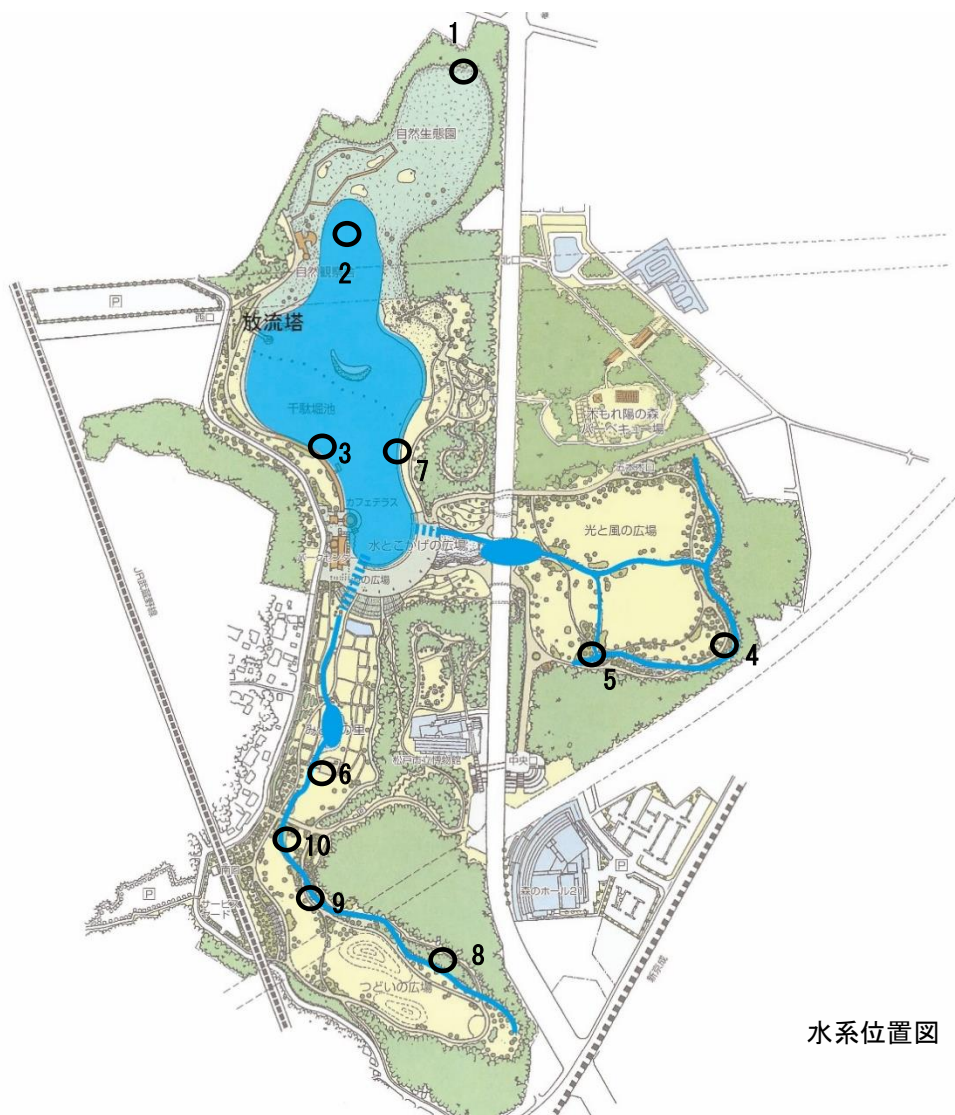
魚類 : 11種、重要種4種、ギンブナ、モツゴ、ドジョウ、メダカ
外来種4種、タイリクバラタナゴ、カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス

底生動物 : 57種、重要種5種、外来種1種（アメリカザリガニ）

湧水 : 881 t / 日 (BOD : 上流 2mg/l以下、千駄堀池中央部 3mg/l以下)

千駄堀池 : 公園及び周辺区域 104ha を流域とした調整池 (25,000 t) 通常水位+0.5m

水質調査位置 :



水系位置図

2 公園周辺の状況

(1) 公共施設

●森のホール 21

敷地面積：14,799.51㎡

許可者：松戸市教育委員会

所管課：社会教育課

許可期間：平成25年4月1日まで平成35年3月31日まで（10年）

使用料：松戸市都市公園条例施行規則第6条第1項第1号の規定により免除

●松戸市立博物館

敷地面積：7,795.81㎡

許可者：松戸市教育委員会

許可期間：平成25年4月1日から平成35年3月31日まで（10年）

使用料：松戸市都市公園条例施行規則第6条第1項第1号の規定により免除

●県立西部図書館



- 松戸市総合医療センター
西口より約1km、徒歩約13分



(2) 商業施設

●テラスモール松戸

令和元年 10 月 25 日に北部市場跡地へオープンした商業施設。

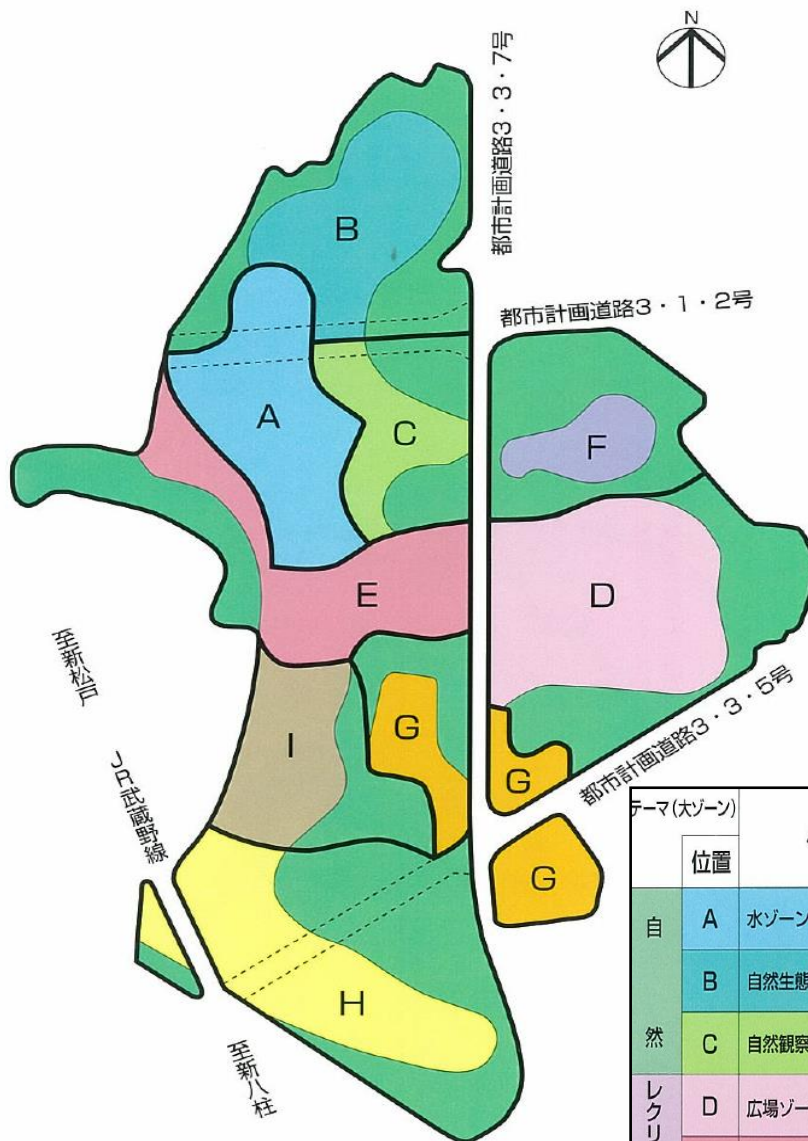
当公園北駐車場より、けやき通りを北上し 1.5km の位置にある。



3 各施設の概要

(1) ゾーン特性

本公園は大きくは4つのゾーン（自然、レクリエーション、文化、既存樹林）に分かれている。自然・既存樹林ゾーンは自然を守ることを重視し、来園者は最小限の利用しかしないことを基本としている。レクリエーションゾーンは芝生広場、せせらぎ、野外活動ゾーンからなり、公園のコンセプトに調和する範囲で来園者が活用するゾーンとなっている。文化ゾーンは農村の伝統文化を体験することができるよう維持管理されている。



ゾーン	面積 (ha)
A	5.8
B	6.21
C	1.0
D	6.4
E	2.3
F	1.4
G	2.25
H	4.49
I	2.52
管理施設	0.96
既存林	16.93
合計	50.5

テーマ(大ゾーン)	小ゾーン(名称)		内 容
	位置		
自 然	A	水ゾーン (池)	人間と水とのふれあい空間としての機能を付与しています
	B	自然生態ゾーン (いきものたちの谷津)	生きものたちの生息空間として、保全、保護する又、観察できる機能を付与しています
	C	自然観察ゾーン (四季の山野辺)	自然観察のセルフガイドの場としての機能を付与しています
レ ク リ エ ー シ ョ ン	D	広場ゾーン (光と風の広場)	開放的な空間と避難広場としての機能を付与しています
	E	水辺ゾーン (水とこかげの広場)	市民のふれあいの場としての機能を付与しています
	F	野外活動ゾーン (木もれ陽の森)	野外活動の場としての機能を付与しています
文 化	G	文化施設ゾーン (縄文の森、中央口周辺)	屋内文化活動の場としての機能を付与しています
	H	催し物ゾーン (つどいの広場)	野外文化活動の場としての機能を付与しています
	I	里のゾーン (みどりの里)	農村伝統文化、農村景観等、里のイメージを持たせています
既 存 樹 林	いのち (生命の森)	21世紀の森と広場の「命」である「みどり」を守り育てていきます	

- ① 自然ゾーン：主に千駄堀池を中心としたエリア。動植物の重要種が集中している。

A:水ゾーン（池）

東京ドーム約1個分の千駄堀池が広がる



千駄堀池北側

千駄堀池南側

B:自然生態ゾーン（いきものたちの谷津）

自然生態園は来園者の利用が制限されている。毎週土曜・日曜・祝日に実施する自然観察ガイド開催時のみ、人数を限定して利用が可能



自然生態園

C:自然観察ゾーン（四季の山野辺）

野草園が主となるゾーン



野草園

② レクリエーションゾーン

D: 広場ゾーン（光と風の広場）

東京ドーム約1個分の広大な芝生広場が広がるエリア。淵では湧水が令和3年7月3日には遊具施設「あそびのすみか」がオープンした



広大なはらっぱ

あそびのすみか

E: 水辺ゾーン（水とこかげの広場）

光と風の広場から湧水の小川が流れるエリア



夏には水遊びも可能

F: 野外活動ゾーン（木もれ陽の森）

バーベキュー場を主とするエリア



屋根付き炊事場

野外炉

③ 文化ゾーン

G: 文化施設ゾーン（縄文の森、中央口周辺）

復元竪穴住居は博物館の屋外展示となっている



復元竪穴住居

森の工芸館

中央口

H: 催し物ゾーン（つどいの広場）

広大な芝生が広がる。秋には紅葉を楽しむことができる



芝生広場

山際は紅葉スポットとなっている

I: 里のゾーン（みどりの里）

水田・畑・梅林等が再現され、農の風景が維持されている



里の茶屋

水田



畑

梅林

(2) 各施設概要

① パークセンター

●設置目的

21世紀の森と広場の中心施設として、平成5年に開館し、園内のフィールドを活用した自然とのふれあいの機会を提供する「自然学習機能」、緑花啓発を推進する「緑の相談所機能」、市内の緑や公園情報を提供する「公園情報発信機能」の3本の柱を目的に設置された複合施設。管理事務所もここに設置されている。

※開館時間：午前9時から閉園30分前まで

※休館日：月曜日（祝日の場合は翌日休館）

※令和3年8月現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館中



●規模

- ・構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨 2階建
- ・建築面積：700.13㎡
- ・延床面積：991.63㎡

●施設内容

○1階：自然学習機能

- ・千駄堀の自然（パネル）、検索パソコン（動植物検索、公園案内）

公園情報発信機能

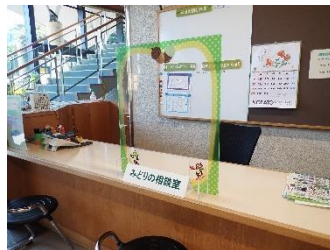


- ・松戸のみどり情報、公園内見どころ情報、公園内花、虫、鳥ごよみ



みどりの相談所機能

- ・みどりの相談コーナー（水曜、土曜、日曜、祝日の午前10時から午後3時30分まで）を開設し、市民の緑花に関する知識や技術の向上・普及啓発を通じ、緑や花を愛する市民を育て、都市緑花の推進を図っている。相談内容は剪定、植付け、肥料、病害虫等



	H28	H29	H30	H31	R2
相談件数	802	731	653	582	422
相談日数	154	154	157	160	131
件数／日	5.2	4.8	4.2	4.2	3.2
累計件数	20,538	21,269	21,922	22,504	22,926

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月3日から6月2日までみどりの相談を休止。同年6月3日から電話受付のみ再開

- ・園芸資材コーナー、四季の園芸ビデオ



その他

- ・赤ちゃんポケット、図書コーナー、水槽等、キッズスペース(休憩所)



○2階：多目的室第1、第2及び第3

- ・展示及び講習会等



- ・第1については、利用していない場合、休憩室として開放。
(飲食可能、靴を脱ぐスペース)

	H 2 8		H 2 9			
パークセンター企画展	2 件	25 日	2 件	41 日		
外部展示	2 件	10 日	7 件	27 日		
講座ほか	109 件	122 日	110 件	107 日		
合計	113 件	157 日	119 件	175 日		
利用率	51.3%		57.2%			
	H 3 0		H 3 1		R 2	
1 件	20 日	1 件	24 日	0 件	0 日	
2 件	6 日	2 件	6 日	0 件	0 日	
94 件	110 日	95 件	109 日	73 件	117 日	
97 件	123 日	98 件	139 日	73 件	117 日	
利用率	40.1%		45.2%		38.0%	

※平成31年度1・2月は空調工事のため利用中止。

※令和2年1月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
利用を制限

パークシアター



- ・公園ガイダンス、自然系、園芸系等のDVD上映及び講習会等
- ※DVD上映（平成27年度までビデオ）
- ※土曜、日曜、祝祭日の午後1時30分及び2時から放映
- ※平成28年度から子ども向けのDVDを加えた。

内容	H28	H29	H30	H31	R2
DVD上映	92日	99日	119日	62日	0日
講座ほか	34日	32日	35日	20日	2日
その他市民の利用	9日	5日	7日	11日	0日
行政内部(会議、視察)	12日	6日	8日	7日	1日
合計	147日	141日	170日	100日	3日
利用率	47.9%	45.9%	55.4%	32.6%	0.7%

サンルーム及びテラス

- ・園芸植物の見本展示



② 森の工芸館

●設置目的

森の工芸館は、自然に恵まれた公園の特徴を活かし、自然発生材（小枝、ツタ、木の葉、木の実、間伐材等）を活用した工芸教室を実施する場として設置され、自然発生材のリサイクルを図り、環境を大事にする心を育てること、そして、物作りを通じて、自然とのふれあい、創造性を育てることを目的としている。



●規模

- ・ 構造：木造平屋建て（丸太ログ）
- ・ 建築面積：50㎡

●施設内容

工作台4基、椅子30脚、流し場

●施設利用状況

	H28	H29	H30	H31	R2
パークセンター主催講座	0日	2日	0日	0日	0日
里山活動・里山Q・ オープンフォレスト・ 千葉県インストラクター会	10日	9日	19日	10日	0日
森のこども館	20日	32日	29日	28日	19日
他課講座等（博物館等）	13日	3日	2日	1日	0日
合計日数	43日	46日	50日	39日	19日

※令和2年1月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用制限。

〈主な利用方法〉

- ・ 森のこども館（平成25年11月より子どもわかもの課の事業として実施）
- ・ 里山活動での利用（平成26年1月から里山ボランティアが縄文の森で活動している）
- ・ 講座等（例：藍の生葉染体験教室）

③ アウトドアセンター管理棟

●設置目的

野外活動に関する講座、研修等の施設として利用される他、試行キャンプ期間中は、悪天候による緊急避難場所として利用することを目的に設置されている。



●規模

- ・構造：木造平屋建て
- ・建築面積：289.29㎡

●施設内容

- ・管理棟ミーティングルーム2室（1学年男女60名ずつ120名収容）
- ・シャワー室6室

●施設利用状況

	H28	H29	H30	H31	R2
ミーティングルーム①	13日	6日	7日	1日	4日
ミーティングルーム②	6日	3日	2日	0日	1日
利用率（①+②÷357）	5.3%	2.5%	2.5%	0.3%	1.4%
シャワー使用日数	4日	0日	0日	0日	1日

〈主な利用方法〉

- ・里山ボランティア入門講座等の里山活動
- ・自然観察会等の環境学習会
- ・ひょうたん村楽器づくり等の各種講座
- ・ボーイスカウト等野外活動団体の研修会
- ・自然や野外活動に関する展示等
- ・キャンプ期間中の緊急避難場所、ミーティングの場

④ 野外キャンプ場

●設置目的

「自然を知り、自然に学び、自然を生かす知恵ある暮らし」を考えることを目的とし、規律ある集団野外宿泊体験などの活動、自然観察、創作活動などの野外レクリエーション活動、野外炊事などの野外活動ができる施設として設置している。キャンプ場は、海や山などの野外宿泊キャンプに出かける前の体験練習場の場として設置されている。しかし、宿泊施設がないことから、平成14年度より「試行キャンプ」を行っている。

○テントサイト：20サイト（6人／1サイト）

○利用期間：4月1日から10月31日まで

※金曜日または土曜日からの1泊2日の利用。夏休み期間中は木曜日を除く1泊2日の利用

○利用対象者：市内在住で設置目的に添った活動内容で、指導者または責任者の引率するグループ又は団体で次のいずれかに該当する人。

1) 児童、生徒

2) 青少年活動のための指導者研修会を開催する人及びこれに参加する人

3) 子供の活動を目的とした家族中心のグループ

○利用料金：テント持込料・環境衛生費・炉、調理器具一式

大人1, 260円、小人（小学生以下）840円

※基本的なキャンプメニューを取り揃えており、別途予約注文が可能。

●利用状況

	H28	H29	H30	H31	R2
利用日数	4日	4日	6日	11日	0日
利用組数	5組	4組	6組	13組	0組
利用人数	58名	37名	68名	77名	0名
利用率	5.0%	5.0%	7.5%	13.8%	0%

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用制限。

※令和3年度は令和3年7月31日現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用を中止している。

⑤ バーベキュー場

●設置目的

バーベキュー場は、みどりに囲まれた約9,000㎡の敷地に屋根付き炊事場、野外炉、食材の販売・用具のレンタル等のサービスを提供する「アウトドアセンター受付棟」を設け、快適にアウトドアクッキングを楽しめるよう整備されている。

○屋根付き炊事場：流し場5基、テーブル12基、炉24基

○野外炉：20基

○受付棟：売店（飲食物等の販売、レンタル用品貸出し、入園受付）



●利用状況

	H28	H29	H30	H31	R2
利用日数	266日	260日	259日	280日	246日
利用組数	3,205件	2,857件	2,842件	3,094件	2,909件
利用人数	44,983名	38,655名	38,099名	35,223名	18,162名
利用率	88.1%	86.1%	85.8%	92.7%	81.5%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月9日～5月31日まで休業とした。

●レンタル料金

○炉の利用料金：屋根付炉10名対応（1,000円）

野外炉8名対応（600円）

※完全予約制（利用日の1ヶ月前の月初めから予約可能）

○燃料：炭2kg（420円）、炭5kg（945円）、まき3kg（575円）、着火材（105円）

○食材：牛肉、豚肉、鶏肉、焼きそば、海鮮、野菜ほか

1人分（1,155円から4,000円まで）

※予約制（利用日の1週間前までに5人分より受付）

○入場料金：管理費として高校生以上1人100円

●申し込み

平成31年4月よりインターネット申し込みを開始

●アウトドアセンター受付棟（建築年：平成12年）

○目的：野外生活体験の利用者の利便性を図るための管理施設として設置
（日常的にはバーベキュー場管理施設）

○構造：木造、丸太組平屋建て

○建築規模：延床面積＝137.56㎡

○営業時間：9時から16時まで

7/21から8/20まで（9時から17時30分まで）

11/1から2/末まで（9時から15時30分まで）



※現在、都市公園法第5条の規定により公園施設管理許可を受けた事業者が運営管理を行っている。

⑥ 自然観察舎

●設置目的

自然観察舎は、千駄堀の原風景が残されている公園北部の自然生態園に建設し、千駄堀に生息する野鳥、小動物や湿地の植物を観察し、自然とのふれあいを通じて生態系の仕組みや人と自然との関わりについて指導・解説することを目的に設置している。



- 構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）平屋建て
- 建築面積：300.98㎡
- 延べ床面積：257.38㎡
- 施設内容：固定式望遠鏡14台・展示通路（自然教育パネル展示）
相談コーナー・図書コーナー・双眼鏡貸出し（27台）
自然生態園（木道：幅員1.2m、延長220m）



- 運営内容：平成13年度より、自然解説員のガイドによる自然生態園の「湿地の観察会」を実施。観察会は、湿地の木道から自然観察を行う。時間と人数については、生き物の生息環境を守るため制限している。

- ※区域の分類
- ・一般公開区域：野草園
 - ・制限公開区域：自然生態園木道部
 - ・非公開区域：自然生態園奥

●利用状況

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2
来館者数	27,594 人	24,695 人	23,066 人	20,610 人	コロナ対策により閉館
1日最多	409 人	343 人	319 人	307 人	
1日平均	—人	81 人	78 人	73 人	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年1月から一般利用中止。

〈参考：年度別 湿地の観察会開催状況〉

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2
実施回数	256 回	242 回	238 回	220 回	0 回
参加人数	1,175 人	1,148 人	1,056 人	910 人	0 人
1日平均	—人	11 人	—人	—人	—人

※観察回数：土曜、日曜、祝祭日に1日4回（各回30分・定員15人）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年1月から一般利用中止。

(3) 樹林地面積等

① 園内樹林地面積

保全区域	来園者の立入りを規制している区域	約 11.0 ha
活用区域	園路があり林の中を散策できる区域	約 10.0 ha
合計		約 21.0 ha

② 来園者が利用できない部分面積

樹林地	一部園路だけ通行できる部分 10 ha 含む	約 21.0 ha
池		約 5.8 ha
自然生態園		約 3.2 ha
合計		約 30.0 ha

③ 特徴

当公園の樹林地は、クヌギ・コナラ・イヌシデの雑木林、シラカシ・スダジイの照葉樹林、スギの植林などから構成されている森（約18ha）で覆われ、標高20から30mの大地部と8から12mの谷津と呼ばれる低地部から成り立っている。

3本の谷が入り組んだ独特な景観が特徴である。谷津の奥からは、日量約1tの湧水が流れる自然資源に恵まれた所であり、小動物（タヌキ、野鳥、昆虫など）も多く棲息している。

④ 湧水

園内には豊富な湧水があり、この公園の豊かな生態系を支える大きな資源となっている。

湧水量は、開園当初の平成5年8月には1日1,092t、平成24年1月の調査では1日567tと減じた（明確な根拠はないですが、平成23年3月の東北地方太平洋沖地震による地下水脈の変化や周辺地域の開発の影響も考えられます。）が、平成31年度の平均水量は1,233.3tとなり、ある程度安定した水量となっている。

湧水が集まる千駄堀池は、東京ドーム1個分の人口池で水深約1m、公園及び周辺地の約104haを流域面積として、通常水位+50cmで調整容量2万5千tの調整機能を有している。

4 駐車場の状況

(1) 駐車場設置場所

公園には、各ゲートに隣接して4か所の駐車場がある。



(2) 各駐車場概要

駐 車 場	東	東第2	西	北	北第2	南	合計
駐 車 台 数	238 台	85 台	225 台	56 台	112 台	131 台	847 台
うち障害者	5 台	0 台	7 台	2 台	0 台	0 台	14 台
普 通 車	232 台	85 台	223 台	56 台	112 台	131 台	839 台
大 型 車	6 台	0 台	2 台	0 台	0 台	0 台	8 台
面積 (ha)	約 1.2		約 0.7	約 3.1		約 0.4	約 6.2
完 成 時 期	H 4		H 4	H 1 2		H 4	

※南駐車所：土曜・日曜・祝日のみ開場

※森のホール21地下駐車場：東駐車場脇。駐車台数139台（6,302㎡）

うち身障者用5台

※西駐車場のみ時間制料金（1時間以内100円、2時間以内200円3時間以内300円、3時間を超えた場合500円）、他は一回500円

5 公園の利用者数

(1) 入園者数の推移と年当り平均入園者数

年 度	入園者数	累 計	備 考
平成 5年度	664,170	664,170	ホテル観賞会開始
平成 6年度	585,084	1,249,254	
平成 7年度	603,316	1,852,570	
平成 8年度	614,567	2,467,137	
平成 9年度	611,327	3,078,464	
平成10年度	595,367	3,673,831	
平成11年度	631,318	4,305,149	
平成12年度	582,209	4,887,358	
平成13年度	688,921	5,576,279	
平成14年度	636,581	6,212,860	
平成15年度	655,757	6,868,617	
平成16年度	615,275	7,483,892	
平成17年度	643,408	8,127,300	
平成18年度	619,789	8,747,089	
平成19年度	630,100	9,377,189	
平成20年度	604,670	9,981,859	
平成21年度	651,272	10,633,131	
平成22年度	599,095	11,232,226	
平成23年度	527,391	11,759,617	緑と花のフェスティバル、こども祭り中止 東日本大震災による節電 7月から8月の毎週木曜休園
平成24年度	526,092	12,285,709	どこでもシアター開始、 こども祭り中止
平成25年度	596,302	12,882,011	カップ市開催
平成26年度	594,304	13,476,315	和太鼓の公演開始
平成27年度	598,789	14,075,104	
平成28年度	651,183	14,726,287	松戸モリヒロフェスタ～おいしい・たのしい・おしゃんてい～開始
平成29年度	613,822	15,340,109	松戸モリヒロフェスタ～こどもの王国～開始
平成30年度	592,398	15,932,507	こども祭り中止
平成31年度	606,335	16,538,842	ホテル観賞会、松戸モリヒロフェスタ 「和太鼓の公演」中止
令和 2年度	603,554	17,142,396	松戸モリヒロフェスタ(3回)、緑と花のフェスティバル、こども祭り、ホテル観賞会、大農業まつり、中止
※平成5年度(4月29日)から令和2年度末まで 28年間 610,197人			

(2) 夏季（7/21から8/20まで）の入園者数と閉園時間延長時（17:00から18:30まで）の入園者数

入園者数	H28	H29	H30	H31
夏季全体（31日）	48,741	41,203	36,483	36,674
うち 17:00～18:30 まで	1,378	978	956	1,216
夏季 1 日 当り 平均	1,573	1,112	976	1,183
うち 17:00～18:30 平均	45	32	31	39
延長時間入園者数の割合	2.9%	2.9%	3.2%	3.3%

入園者数	R2
夏季全体（31日）	55,029
うち 7:00～9:00 まで	7,842
うち 17:00～18:30 まで	2,322
夏季 1 日 当り 平均	1,775
うち 7:00～9:00 まで	253
うち 17:00～18:30 平均	75
早朝時間入園者数の割合	14.3%
延長時間入園者数の割合	4.2%

※令和2年度より夏期約1か月間、午前7時から開園を行う「早朝開園」を実施

(3) 平日と土日祝日の入園者数と割合（令和2年度）

平日入園者数	土日祝日入園者数	計
301,161人	302,393人	603,554人
49.9%	50.1%	100%

6 公園のルール

(1) 運営管理の考え方

21世紀の森と広場では、より多くの公園利用者に様々な自然との「ふれあいと楽しみ」を提供できるよう、公園独自のルールをつくり、自然尊重型の公園として自然を大切にしながら適切な運営管理を進めている。また、公園利用ルールへの協力をお願いしていくため、公園各ゲートに人員を配置し案内や園内巡視業務などを行い、円滑な運営管理を進めている。

(2) 運営に関する禁止事項

●条例により許可を必要とする行為

- ・ 物品の販売、募金その他これらに類する行為をすること。
- ・ 業として写真又は映画を撮影すること。
- ・ 興行すること。
- ・ 競技会、展示会、祭礼、集会その他これらに類する催しをすること。

●条例による禁止行為

- ・ 公園を損傷し、汚損すること。
- ・ 竹木を伐採し、又は植物を採取すること。
- ・ 土地の形質を変更すること。
- ・ 鳥獣魚類を捕獲し、又は殺傷等すること。
- ・ はり紙若しくははり札をし、又は広告物を表示すること。
- ・ 立入り禁止区域に立ち入ること。
- ・ 指定された場所以外の場所へ車両を乗り入れ、又はとめおくこと。
- ・ 公園をその用途以外に使用すること。
- ・ その他公園の管理に支障のある行為をすること。

●本公園が独自に定める行為

- ・ ペットを連れて入園すること。
【理由】糞尿・寄生虫・毛等による衛生上の問題、思わぬ事故防止のため。
- ・ 自転車等の車輪がある乗り物（子供用駆動構造が無いものを除く。）を持ち込むこと。
【理由】他利用者との事故防止、園路・芝等の損傷防止のため。
- ・ ゴルフクラブ、野球バット等の硬質な用具を持ち込み使用すること。
【理由】周囲の利用者の事故防止

- ・ 野球（ビニールボール等は除く。）等の軌道が不安定なスポーツを行うこと。ただし、混雑状況により中止を求める場合もある。
【理由】 周囲の利用者の事故防止
- ・ シェードテント以外の大型テント及びタープの使用をすること。
【理由】 テント内での事故等の防止・発見の遅れ、風により飛ばされる等の事故防止、テント・タープ固定による地面・樹木の損傷防止
- ・ 火気の使用すること。
【理由】 周囲への飛び火・延焼の防止
- ・ 他の来園者に対し危険を及ぼすと思われる行為をすること。

7 イベントの実施状況

(1) 大型イベント

※平成26年度からの数字：公園入園者数に関係者数を加えた主催者発表のもの

●緑と花のフェスティバル（松戸みどりと花の基金、実行委員会 4月29日開催）

年 度	H 1 0	H 1 5	H 2 0
来園者数	24,524人	22,496人	19,752人
年 度	H 2 4	H 2 5	H 2 6
来園者数	11,663人	17,423人	11,200人
年 度	H 3 0	H 3 1	R 2
来園者数	15,000人	16,000人	中 止



●こども祭り（松戸市子どもわかもの課、実行委員会

5月 3日開催）

年 度	H 1 0	H 1 5	H 2 0	H 2 4 (雨)
来園者数	18,553人	20,741人	14,766人	1,887人
年 度	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
来園者数	14,854人	18,000人	16,000人	17,000人
年 度	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2
来園者数	19,000人	雨天中止	21,000人	中 止



●大農業祭（松戸市農政課、とうかつ中央農協、実行委員会 11月23日開催）

年 度	H 1 0	H 1 5	H 2 0	H 2 4
来園者数	— 人	— 人	7, 2 8 5 人	1, 7 8 2 人
年 度	H 2 5	H 2 6	H27（雨	H 2 8
来園者数	1 1, 6 5 2 人	1 1, 0 0 0 人	4, 8 0 0 人	9, 0 0 0 人
年 度	H29（雨晴	H 3 0	H 3 1	R 2
来園者数	2, 6 0 0 人	2 8, 0 0 0 人	1 3, 0 0 0 人	中 止

※平成30年度は松戸モリヒロフェスタ同時開催

※平成31年度はねぎサミット同時開催

※令和2年度はコロナウイルス感染症の流行により中止

(2) 21世紀の森と広場管理事務所が主催又は共催のイベント

●松戸モリヒロフェスタ

広大な自然を活かし、親子で一日中楽しめるイベントをコンセプトに、平成28年度より継続して開催している「食」を主体とする複合型イベント「松戸モリヒロフェスタ」は、1日あたりの来場者数約1.5万人以上の実績を誇る大規模なイベントである。本事業をきっかけに、21世紀の森と広場の品位を上げ、来園者の増加をもたらすとともに、松戸市の都市ブランドの向上に貢献することを目指しています。

	イベント名	開催日	日数	来園者数
H28	おいしい・たのしい・おしゃんてい	10/8・9・10	3日	49,000人
H29	こどもの王国	5/5・6	2日	24,000人
	たのしい・おいしい・おしゃんてい	11/3・4・5	3日	55,347人
	和太鼓	3/18	1日	9,078人
	延べ来園者数			88,425人
H30	こどもの王国	5/5	1日	17,000人
	おいしい・たのしい・おしゃんてい	11/23・24・25	3日	65,000人
	開園25周年イベント	12/16	1日	3,258人
	和太鼓	3/17	1日	11,200人
	延べ来園者数			96,458人
H31	こどもの王国	5/3・4・5	3日	44,000人
	おいしい・たのしい・おしゃんてい	11/2・3・4	3日	51,000人
	和太鼓	コロナ対策にて中止		
	延べ来園者数			95,000人
R2	コロナ対策にて全て中止			



こどもの王国



おいしい・たのしい・おしゃんてい



和太鼓の公演

● 21世紀の森と広場ドコでもシアター（平成24年10月より年2から4回）

本公園の「魅力アップと有効活用」に対する新たな取組みとして平成24年度より22回実施しており、「ドコでもシアター」の名前のおり、この公園独特の景観の中での音楽会は、ただ音楽を聴くだけでなく公園の魅力も合わせて伝えることができ、好評を博している。また、本事業は、市民との協働で実施している意義のある事業でもある。

回数・年月	H24.10	H25.5	H25.8	H25.10	H26.3	H26.5
来園者数	140人	600人	420人	700人	420人	460人
回数・年月	H26.8	H26.11	H27.5	H27.9	H27.11	H28.5
来園者数	600人	600人	830人	900人	500人	600人
回数・年月	H28.8	H28.11	H29.5	H29.8	H29.11	H30.8
来園者数	600人	910人	600人	740人	500人	550人
回数・年月	H30.11	R1.8	R1.12	R2.11	合計	
来園者数	630人	520人	480人	776人	13,076人	



● ドンちゃん・グリちゃんの自然展（平成25年度より7月下旬から8月下旬まで）

本公園の「魅力アップと有効活用」に対する新たな取組みとして平成25年度より実施しており、本公園の「かけがえのない自然」を市民の皆様にもアピールする場となっている。「公園内に棲む生き物の展示」や「夜の昆虫ウォッチング」など、自然解説員等の専門家の皆様と工夫を凝らして実施している。

年度	H25	H26	H27
来園者数	11,300人	9,400人	7,400人
年度	H28	H29	H30
来園者数	6,600人	11,000人	10,500人
年度	H31	R2	合計
来園者数	9,200人	中止	56,200人



ザリガニ釣り

●ホタル観賞会

この鑑賞会は、「公園の清流が皆に関心をもたれ、いつまでも保たれていくようお願いを込めて」、松戸東ライオンズクラブの地域貢献事業として平成5年から始まり、例年5月末頃から6月初旬の3日間で実施し、平成30年度で延べ25回の開催をしている。

年 度	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
来 園 者 数	東日本大震災	1,500人	5,800人	580人	4,400人
年 度	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2
来 園 者 数	5,500人	5,100人	5,000人	生育不良	コト対策

●市制70周年記念事業「森と水辺のカッパ市」（平成25年度開催）

来園者数：7,597人

●市制75周年、開園25周年記念イベント「松戸モリヒロフェスタ」

開催日：平成30年12月16日（日）、来園者数：3,300人

(3) その他の大型イベントの実績

● ジャパンポップカルチャーカーニバル (松戸市文化国際観光課、実行委員会)

年度	H26. 10	H27. 10
来園者数	13,400 人	12,000 人

● だいすき松戸！子どもフェスティバル (松戸市青少年会館、実行委員会)

年度	H27. 3	H28. 11	H29. 11	H30. 11	H31. 11
来園者数	4,200 人	7,000 人	648 人	360 人	316 人

※H27. H28 は総来園者

※H27. H28 はドコでもシアター同時開催

8 団体利用の状況

本公園は、広大な敷地と豊かな緑に囲まれたロケーションとなっており、季節ごとの植物や生物が生息していることから、遠足、レクリエーション、コスプレ、結婚式の前撮りなど幅広い世代に活用されている。

平成26年度からは次世代につなぐことを目的に遠足誘致を強化して、公園の魅力を外に発信し、団体での利用を促すことで子供たちが再び訪れ、或いは自分の子供を連れてくるなど思い出の場所となると同時に、「自然の大切さ」、「住みよい環境」をPRすることを目的としている。

遠足時には、要望に応じて学習指導員や自然観察員等の知識を有する人による、ガイドも実施しており、市内及び市外の小学校の遠足や校外学習等に、「この公園に遠足でお越しただければ、こんなことができますよ」といったメニューをパンフレットにして松戸市内外の小学校へ送付している。

●団体利用市内外の推移

年 度	市 内		市 外		計	
平成28年度	12,073人	65.2%	6,445人	34.8%	18,518人	204団体
平成29年度	16,106人	69.5%	7,052人	30.5%	23,158人	241団体
平成30年度	15,404人	68.6%	7,038人	31.4%	22,442人	226団体
平成31年度	14,046人	68.2%	6,540人	31.8%	20,586人	230団体
令和2年度	6,675人	77.2%	1,966人	22.8%	8,681人	194団体

●団体利用目的の状況

団 体	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
保育所、幼稚園	10,114人	79件	12,324人	102件	10,746人	93件
小 学 校	3,984人	33件	3,917人	24件	2,780人	26件
中学、高校、大学	1,406人	20件	773人	10件	893人	8件
コ ス プ レ	674人	111件	452人	104件	351人	82件
そ の 他	3,014人	72件	6,144人	105件	8,023人	99件
計	19,192人	315件	23,610人	345件	22,793人	308件
団 体	平成31年度		令和2年度			
保育所、幼稚園	10,965人	106件	2,566人	54件		
小 学 校	2,484人	20件	3,266人	43件		
特 別 支 援 学 校	75人	3件	28人	2件		
中学、高校、大学	1,014人	9件	944人	11件		
コ ス プ レ	374人	88件	153人	59件		
そ の 他	6,048人	92件	1,930人	84件		
計	20,960人	318件	8,887人	253件		

〈参考：遠足対応の様子〉



自然たんけんラリー



オリエンテーリング



クラフト体験